



県本部主催の春闘決起集会に参加した兵庫ダンプ支部の仲間たち(3月9日神戸市内)



小雨の中、車両パレードに参加した神奈川ダンプ支部の仲間たち(3月2日横浜市内)

粘り強く闘えば 要求は実現できる

兵庫ダンプ ネクスコ発注工事で 単価引き上げを実現

兵庫ダンプ支部では昨年2月からネクスコ西日本発注の現場でダンプの単価引き上げの闘いの取り組みをすすめ、宣伝行動や交渉を積み重ねた結果、ダンプの常用単価3万4千円から4万円での就労を実現しました。

ネクスコ西日本の発注工事では、以前から国交省と比較すると2〜3割工事単価が安く、長年ダンプの低単価を生み出す原因となっていました。時には関西ダンプ支部と共同で「低単価は過積載や深刻な交通事故・大災害を引き起こす要因になる」と宣伝ビラを作成し、ネクスコに対する要請行動や警告する街頭での宣伝行動を実施してきました。

昨秋には日本共産党の国会議員団・近畿ブロック事務所にも相談し、近畿地方整備局に対してネクスコへの指導改善の申し入れをおこないました。さらに穀田恵二衆議院議員事務所とも連携して、国交省へのヒアリングをおこない、ネクスコ発注工事は公共工事であり、下請やダンプの単価が適正支払われるよう国の指導責任を明らかにしました。

やがて9月以降、ネクスコ西日本が発注している「新名神高速道路工事」の現場で働くダンプの常用単価は3万4千円から3万6千円になり、4万円まで引き上げられました。1日あたり6千円、1ヶ月にすると15万円の賃上げを実現した計算になります。

同支部では引き続き常用単価5万円以上の実現を目指して奮闘しています。その為にも政策的に建設業界全体の底上げ（設計単価の引き上げ）を掲げて、建設業界との一致点での共同も追求します。

さらに兵庫ダンプ支部では、闘いの成果を組織拡大にも活かす構えです。仕事確保と単価アップを結合させて、組合員拡大を進めた結果、一昨年の大会から昨年の大会までに約30名の純増に成功しました。

引き続き重点地域「阪神・神戸西地区・但馬・鳥取県・西播磨・和歌山県・丹波」を設定し、二〇一四年9月末に開催予定の大会までに60名純増の拡大目標を掲げて奮闘する決意です。

神奈川ダンプ 車両パレードに参加 二〇一四春闘アピール

3月2日(日)トラック部会、タクシー労働組合(自交総連)、港湾労働組合などで行く神奈川交運共闘会議が開催した二〇一四年春闘に決起する自動車パレードに神奈川ダンプ支部から6名が参加しました。

小雨が降りしきる朝、ダンプを含め合計53台の車両と76名の仲間が、横浜市山下埠頭に結集して、決起集会を開催し、各団体から「今春闘でかならず賃上げを勝ち取ろう」とあいさつがありました。集会後、横浜市内を車両パレードがスタート。山下埠頭を出て、市民や観光客にぎわう日曜日の「みなとみらい地区」を通過し、「大幅賃上げ、雇用の改善、労働法制改悪阻止」などの労働者の要求をはじめ、中小企業の経営環境改善や消



単価改善に向けて支部大会で討議した西九州ダンプの仲間たち(2月15日佐賀市内)

3月9日(日)、兵庫県本部主催の二〇一四年春闘決起集会&トラックパレードに兵庫ダンプ支部からダンプ13台、17名が参加しました。トラックパレードは、ポートアイランドから新港4突堤、新港1突堤を通過、中突堤で折り返し、関西電力神戸支店前から神戸市役所から三宮交差点を通過し大いに市民にアピールしました。集会全体の参加は、約一二二名、車両62台でした。

**使用促進・税金相談
要求に応える組織へ**
西九州ダンプ

西九州ダンプ支部は、2月15日(土)、佐賀県佐賀市内で第11回定期大会・第14回安全大会を開催しました。

大会には、役員・代議員14名(組合員15名に対し1名)と、来賓3名が出席しました。

第1号議案「運動の総括と方針」、第2号議案「決算、会計監査報告」、第3号議案「予算」などの各議案が提案され討議の結果、代議員全員の賛成で採択されました。

今大会では昨年4月と今年2月に公共工事労働単価の引き上げの意義について詳しく報告されました。討論では「いろいろな単価が言われているが、実際に支払われているのは3万6千円前後が多数である」との認識で全員が一致しました。

また今年1月から記帳の義務化にあたり、所得税の申告に関わって「記帳集計表」や支部の援助制度について、執行部から提案されました。いくつかの質疑応答の後、全代議員の賛成で可決しました。